

様式の体裁は変更せず、ダウンロード時に記載済みの項目はそのままご利用ください。

記入例(おもて)

産業廃棄物分析調査報告書

年 月 日

様式1

(報告先)
横浜市市長

住所 横浜市〇〇区〇〇
 氏名 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇〇〇

次のとおり産業廃棄物の分析調査結果を報告します。
[事業者記入欄]

提出区分	新規 ・ 継続 ・ 中間報告		
当該廃棄物の担当者	所属 〇〇工場	氏名 △△△△	TEL 045 (〇〇〇) 〇〇〇〇
事業概要	業種	製造業	
	主要製品	〇〇	
廃棄物名(社内名)	汚泥	主成分	鉄
試料採取者及び採取年月日	所属 〇〇工場 氏名 △△△△	令和〇年 〇 月 〇 日採取	
試料採取場所及び方法			
廃棄物の発生工程及び処理工程(フローシート)	発生場所 報告者住所と①. 同じ 2. 異なる(製品を製造する際に発生する汚水の処理工程から発生する脱水汚泥		
保有する政令で定められた施設の名称又は番号	大気汚染防止法関係	水質汚濁防止法関係	廃棄物処理法関係
処分方法	埋立 海洋投入 (A・B・C海域)		
廃棄物排出量	〇t/年	処分頻度	月〇回
保管方法	工場内保管場所にて保管		
収集・運搬者	住所 横浜市××区×× 氏名 △△運輸株式会社		
最終処分者	住所 横浜市中区南本牧3番1、4番 氏名 南本牧第5ブロック廃棄物最終処分株式会社		

横浜市記入欄

記入しないこと

記入例(うら)

8

試料の性状	1. 原状色(黒)	2. 湿状色(黒)	3. 粉体状色(黒)	4. 塊状色(黒)	5. その他()
海洋投	海洋投の重量: 3.0 分以上投棄後の状態				
試料	1. 無	2. 有(上層汚濁)	3. 有(中層汚濁)	4. 有(底層汚濁)	5. 不明
水分	〇%	55%	8.5 (25.0℃)	〇%	1,000mg/kg
固形分	〇%	44%	〇%	〇%	〇%

項目	含有量試験値	溶出試験値	試験方法	
			含有量試験	溶出試験
アルキル水銀	<0.01 mg/L	<0.0005 mg/L		
鉛	<0.01 mg/L	<0.0005 mg/L		
カドミウム	<0.5 mg/L	<0.01 mg/L		
銅	<0.5 mg/L	<0.05 mg/L		
有機塩素	<0.1 mg/L	<0.1 mg/L		
六価クロム	<0.5 mg/L	<0.05 mg/L		
亜鉛	<0.5 mg/L	<0.01 mg/L		
シアン	<0.5 mg/L	<0.1 mg/L		
P.C.B.	<0.01 mg/L	<0.0005 mg/L		
トリクロロエチレン	mg/L	<0.005 mg/L		
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.005 mg/L		
ジクロロメタン	mg/L	mg/L		
四塩化炭素	mg/L	mg/L		
1,2-ジクロロエタン	mg/L	mg/L		
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	mg/L		
2,2,1,2-テトラクロロエタン	mg/L	mg/L		
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	mg/L		
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	mg/L		
1,1,3-トリクロロプロペン	mg/L	mg/L		
チオウラム	mg/L	mg/L		
シマジン	mg/L	mg/L		
チオベンカルブ	mg/L	mg/L		
ベンゼン	mg/L	mg/L		
セレン	mg/L	mg/L		
1,4-ジオキサン	mg/L	mg/L		
ダイオキシン類	mg-TEQ/kg	—		
銅	mg/L	mg/L		
亜鉛	mg/L	mg/L		
有機塩素	mg/L	mg/L		
ベリリウム	mg/L	mg/L		
クロム	mg/L	mg/L		
ニッケル	mg/L	mg/L		
バナジウム	mg/L	mg/L		
有機塩素	mg/L	mg/L		
フェニール類	mg/L	mg/L		

分析機関 所在地 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇
 名称 〇〇分析 印
 連絡先電話番号 〇〇〇〇〇 印
 分析期間 令和〇年 〇 月 〇 日 ~ 〇 月 〇 日
 検出計量士 〇〇〇〇
 TEL 〇45 〇〇〇〇 〇〇〇〇

産業廃棄物分析調査報告書の記入方法

前ページの記入例と以下の対応する番号を参考に記入してください。

- ① 排出事業者の住所、氏名を記入してください。
- ② 初めて承認申請する廃棄物なら「新規」、二度目以降であれば「継続」を選択してください。
排出事業者ごとではなく、廃棄物の種類ごとなので注意してください。
- ③ 各欄に記入してください。ただし、製造業でない場合、主要製品の記入は不要です。
- ④ 廃棄物発生場所の住所及び**発生工程**を記入してください。中間処理施設の場合は別紙にてフロー図を添付するのも可です。
- ⑤ 所有する施設で該当するものがあれば記入してください。
(例:電気メッキ施設(66番))
「事業活動に伴って発生する廃棄物の処理について」の「別表 政令で定められた施設」から確認することもできます。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/gomi-recycle/sangyo/haishutsu/01haisyutu.html#haisyutup>
- ⑥ 各欄に記入してください。ただし、工事等単発の搬入の場合、処分頻度と通常保管量の記入は不要です。
廃棄物排出量については、月平均量を記入してください。また、廃棄物排出量は、後日提出する「産業廃棄物搬入届出書」の搬入量と「付属書」の数量根拠の数値に合わせる必要がありますので、それを念頭に記入してください。
- ⑦ 収集運搬契約相手方の住所、氏名、電話番号、収集運搬業許可証の番号を記入してください。自己運搬の場合は「自己運搬」と記入してください。
- ⑧ 一般性状試験結果及び必要な分析項目の分析結果について、**分析機関が記入**してください。また、分析機関の印が必要です。